



受付第 0 2 A 3 8 7 6 号
 受付日：平成 1 5 年 3 月 1 2 日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成 1 5 年 4 月 3 0 日

財団法人 建築試験センター
 中央試験所長 勝セン野一幸
 埼玉県草加市稲荷 2 0 号

試験名称	床合板を介した木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場 8 4 番 9 号
試験体	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：クリ 1 0 コーナー 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：図-3 参照 材質：SAPH 440 (JIS G 3113) 相当品であり、下記の化学成分及び機械的性質を満足する。ただし、厚さ 1.4mm は規格外である。 厚さ：1.4mm (JIS G 3113 規格外) 化学成分：C (0.040% 以下), S (0.040% 以下) 機械的性質：引張強さ；440N/mm² 以上、降伏点；305N/mm² 以上 伸び；29% 以上</p> <p>表面処理：Ep-Fe/Zn 5 (JIS H 8610) 及び黒色クロメート皮膜</p> <p>2. 接合具 柱側木ねじ：トラスタピックス 7×90, 4-φ7.0×90mm (ねじ部の長さ 50mm) 谷の径；4.2mm, ねじ山のピッチ；3.175mm, ねじ先の形状；とがり先 横架材側木ねじ：トラスタピックス 7×90, 5-φ7.0×90mm (ねじ部の長さ 50mm) 谷の径；4.2mm, ねじ山のピッチ；3.175mm ねじ先の形状；とがり先 材質：SWRCH18A (JIS G 3507) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5 (JIS H 8610) 及び黒色クロメート皮膜</p> <p>3. 使用軸組等 柱：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm, 含水率；30.4~36.4%, 密度；0.55~0.61g/cm³ 横架材：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm, 含水率；21.2~30.7%, 密度；0.51~0.60g/cm³ 床合板：構造用合板 (JAS 特類 2 級), 厚さ；28mm</p> <p>4. 試験体数 7 体 (うち 1 体は予備試験体) (注) 表中の記載内容は、依頼者提出資料による。 参照：図-1~図-3 (試験体の形状・寸法)</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の 2 章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の 2. 「平成 1 2 年告示第 1 4 6 0 号に基づく仕口及び継手の試験法, 評価法」に従って行った。その詳細を表-1 に示す。
試験結果	<p>耐力算定基礎資料：表-2 短期基準接合引張耐力 (Pot) : 11.7 kN 荷重-変位曲線：図-4 及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6</p>
備考	<p>当該試験結果から、厚さ 28mm の床合板を介した柱-横架材の接合部に使用する「クリ 1 0 コーナー」は、必要耐力 10.0 kN (10 kN 用引き寄せ金物) 以上であることが明らかとなったため、 平成 1 2 年建設省告示 1 4 6 0 号表三 (へ) に定める接合方法の性能を満足する。</p>
試験期間	平成 1 5 年 4 月 2 日 及び 3 日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 守屋嘉晃
試験場所	中央試験所